

最先端の医療を実践！ 新体制リハビリテーション部門！

救急・リハビリ・在宅医療の三本柱で地域医療に貢献

当院は、①救急 ②リハビリ ③在宅医療の三本柱を軸に運用しており、救急受入から在宅復帰まで一貫した支援を行える病院です。

武蔵ヶ丘病院の三本柱

1. 救急

医師 to 医師によるホットラインを設置し、積極的に救急患者を受け入れています。



- ・ホットライン
- ・救急
- ・手術
- ・逆紹介

2. リハビリテーション

入院中の患者様の生活に合わせた質の高いリハビリを提供いたします。



3. 在宅医療

住み慣れた家での生活を長く過ごすための医療を提供します。



急性期から在宅まで、充実したリハビリを提供できる「人」「環境」

当院は、病床数全145床（回復期リハビリ病棟60床、一般病棟45床、地域包括病棟40床）を有するケアミックス型病院です。必要がある入院患者全員にリハビリを提供しており、充実したリハビリを提供できる「人」と「環境」を備えております。

また、在宅部門とも連携して地域に根ざした医療を提供しており、障がいでお困りの皆様に寄り添える医療法人を目指しております。

●「人」



セラピスト合計96名



(令和5年4月現在)

●回復期リハビリテーション病棟の実績

	全国平均(令和3年度)	当院(令和4年度)	
平均年齢	77歳	77歳	
男/女比	42.3%/57.7%	40.5%/59.5%	
疾患構成	脳血管	44.7%	36.3%
	運動器	45.4%	59.9%
	廃用	8.0%	3.8%
	その他	1.9%	0%
平均在院日数	67.3日	60.5日	
平均提供単位数	6.5単位/日	7.0単位/日	
実績指数	45.2	51.9	
在宅復帰率	79.0%	94.0%	
重症度		49.6	

●「環境」



2F リハビリ室



ウェルウォーク



三次元動作解析装置 キネマトレーサー



体重免荷装置ニューアシスト



嚙下透視装置



嚙下内視鏡装置

藤田医科大学病院で研鑽した3名のリハビリテーション科専門医

当院には、藤田医科大学病院で研鑽した3名のリハビリテーション科専門医が在籍しています。



たなか しんいちろう 医療法人田中会副理事長
地域連携室 室長
MCRCセンター長
東京医科大学医学科出身（平成21年卒）
認定資格
・日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医
・日本スポーツ協会スポーツドクター
・障がい者スポーツドクター



ほそかわ ひろし
リハビリテーション科医長
関西医科大学医学部出身（平成17年卒）
認定資格
・日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医・指導医
・日本整形外科学会整形外科専門医・脊椎脊髄病医
・厚生労働省 麻酔科標榜医
・社会医学系専門医協会専門医・指導医
・日本骨粗鬆症学会認定医
・日本DMAT 隊員（統括DMAT）



せんじゅ ゆうき
千手 佑樹
山口大学医学部医学科出身（平成25年卒）
認定資格
・日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医
・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士



藤田医科大学病院とは、愛知県豊明市にある病床数1376床を有する、実績・規模・設備ともに国内トップレベルを誇る病院です。

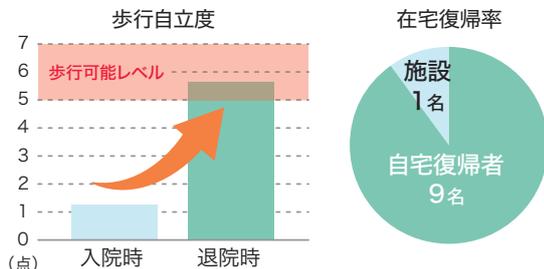
「再び歩きたい」「再び食べたい」の想いを叶える2つの自立支援

当院では、365日の集中的なリハビリテーション提供のもと、特に脳卒中や運動器疾患の方の「歩行自立支援」、食事や水分の「経口摂取支援」の2つの自立支援に力をいれております。

再び歩く（歩行自立支援）

ウェルウォークでの訓練を導入した45名のうち、継続的な訓練（計10日以上）を実施できた脳卒中患者10名を対象にその結果を分析（令和4年4月～令和5年3月）

●リハビリの効果



多くの患者さんが再び歩いて在宅復帰へ

再び食べる（経口摂取支援）

多職種チームアプローチ

評価

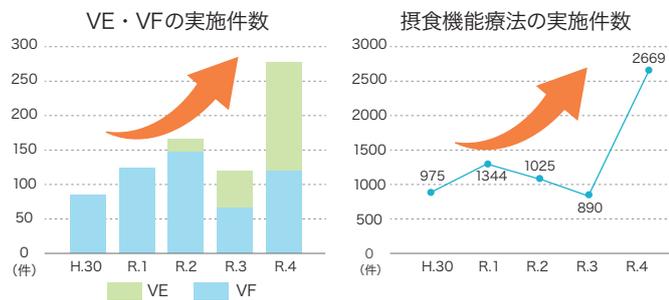
- ・嚥下内視鏡検査（VE）
- ・嚥下造影検査（VF）

訓練

- ・嚥下リハビリ
- ・摂食機能療法

指導

- ・栄養指導
- ・退院前指導



再び食べるためのアプローチを実践中です

リハビリが必要な患者様のご相談・ご紹介をお待ちしております。